令和４年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

くらし部会（知的障がいチーム）活動報告

〔１〕本年度のねらい

昨年度の活動のまとめから検討課題を取り上げ、部会参加者からも学びたい課題を挙げてもらい年間計画を立てる。テーマによっては前年度に引き続き検討をするものもあり、部会参加者が主体的に作り上げる部会を目指す。また、事例検討や実践報告から日々の支援に生かせるような学びの場とすると共に地域の課題に取り組んでいく。

〔２〕部会の開催及び取り組み内容

●開催日時

◎第２木曜日または第３木曜日　１０：００～１１：００

・第１回　　５月１９日（木）「年間計画」「コロナ禍における情報共有」　１５名

・第２回　　７月１４日（木）「飯田養護学校のケース」進路選択について１２名

・第３回　　９月　８日（木）「看取り支援について」２事例　　　　　　１０名

・第４回　１１月１０日（木）「強度行動障がいのある方の支援について」

２事例　　　　　　　　　　　　　　　１０名

・第５回　 １月１２日（木）「意思決定支援について」学習会　　　　　２２名

・第６回　　２月　９日（木）「今年度のまとめ」「来年度に向けて」　　 １２名

1. 成果

　　・コロナの感染拡大も心配されたが、全日程集合にて開催ができた。

　　・昨年度行えなかった「看取り支援」について事例検討ができ、通所事業所も含めいい研修の場となった。

　　・広域連合での認定区分調査の審査会において、意思決定支援や知的障がいの方への 支援についての研修が反映される機会にもなっている。

　 ・意思決定支援について、学習会と意見交換ができ、コミュニケーションの重要性を改めて感じた。

　　・養護学校の事例について、学校、地域、事業所での情報共有ができ、卒業後の支援等も含め検討ができた。

　　・高齢者の障がい福祉と介護保険の併用について知ることができ、今後の支援に生かせ

る視野を得ることができた。

　　・各事業所、関係者の新型コロナウイルス感染予防対策を共有し、日々の支援に生かすことも多くあった。

1. 令和５年度に向けて

　・意思決定支援について勉強したい（重度の障がいのある方など）

　・飯田養護学校の事例検討の継続をしていきたい.

　・事例検討は継続できるといい。

　・高齢者の方への支援について学びたい。

　・コロナ禍での部会の参加方法としてZoomでの参加希望がある。

　・職員のメンタルヘルスについて学びたい。